



向台

6月号

平成28年6月1日

中野区立向台小学校

未草（ひつじぐさ）

校長 中村 明子

5月28日は、向台小学校80周年大運動会に、ご来校ありがとうございました。

「向台音頭」の輪の中にたくさんの大人が入り、どんどん輪が大きくなるのを見て、嬉しく思いました。みんな踊れるので不思議に思い、一緒に踊った方に尋ねると、卒業生だから踊れる方と、保護者として覚えた方とあり、「学校が地域の中にあって、地域の子供を育てていること」を感慨深く思いました。

さて、朝礼台わきの池の中に、睡蓮のピンク色の花が美しく咲いています。泥の中に長く根を伸ばし、泥が溶けたような水の上に緑の葉、ピンクのきれいな花を咲かせます。泥のように濁った水の中から栄養をたくさん取って、大きく育ちます。学校に咲いている睡蓮は、別名未草（ひつじぐさ）とも言います。未の刻（ひつじのこく）に咲くからです。何時なのでしょう。答えは、朝会で子供たちに教えました。子丑寅・・・の十二支で、子が最初で午前0時、丑が午前2時・・・未は、午後2時です。正確な午後2時ではありませんが、夏の日中の暑い時間に咲き、夕方、酉の刻（午後6時）頃に閉じます。三日ぐらい開いて閉じて、やがて種を実らせ、水の中に返します。

この時期に田植えを行う稲も、同様に泥の中に根を張って育ちますが、泥に汚されずに、真っ白なおいしいお米を実らせます。

泥の中で育っても、美しい花を咲かせる未草、おいしい真っ白なお米を実らせる稲。この植物のように、私たち人間も、周りのことを言い訳にせずに、自分の力で学び成長し、美しい心、それを誇りに思える人になりたいものです。

6月の生活目標

～仲良く生活しよう～

- ・友達と仲良く遊ぼう
- ・友達の良い所を見つけよう

